



令和5年度 新宿区「大学との連携による商店街支援事業」

新宿タウンデザイン  
事業報告

工学院大学

# 背景

・工学院大学プロフィール

1887 [明治20年]

10月31日帝国大学総長渡辺洪基を中心として、工手学校創立協議会が開催される。

1923 [大正12年]

関東大震災により校舎全焼する。淀橋町日本中学校を仮校舎として授業再開する。



国際日本文化研究センター“最新大東京地図” 1925[大正14年]



国際日本文化研究センター  
“東京市街地図: 復興完成記念: 東京日日新聞附録” 1930[昭和5年]

・十二通りとの歴史関係

応永年間[1394~1428]

鈴木九郎が紀州熊野三山より十二所権現をうつす。(十二社熊野神社)

1606年 (慶長11年)

伊丹播磨守によって十二社の地に大小二つの池が造られる

享保年間[1716~1735]

八代将軍吉宗が参拝。料亭・茶屋が立ち並ぶ観光地とし繁栄。

1968年 (昭和43年)

新宿副都心計画に伴い十二社池が埋め立てられ消滅

1970年 (昭和45年)

住居表示変更により“十二社”の字名は西新宿に吸収

# 事業コンセプト

## 元淀商店会連携強化

地域トータルデザインを通じた  
「新規商店の商店会加入促進と隣接商店会との連携強化」

大学連携事業として

- (1)販促グッズ作成（無料配布可能なトートバッグ）
- (2)新規加入商店チラシ作成（ダイエー、おさかなや）

共同販促事業として

- (3)隣接の西新宿商店会と共同で会員証作成（店頭掲示パネル）
- (4)2商店会合同のネットマガジン発行（淀橋地区全体の情報発信）

# 実施概要 1

## (販促グッズ)

初年度のフラッグデザインを活用した  
トートバッグの無料配布



## 課題

景品表示法に基づく無料配布可能条件



取引価格200円以内



デザインデータのモノクロ化  
完全2値化 (half tone断念)

コットン製  
A4サイズ

# 実施概要 2

イオンフードスタイル  
ダイエー 西新宿店

おさかなや

Juniso dori

Ome kaido

MOTOYODO WALK

## 元淀めぐり

制作 工学院大学  
協力 元淀商店会  
発行日 2024年(令和6年)2月

新宿区西新宿 元淀商店会

**イオンフードスタイル ダイエー 西新宿店 食品スーパー**

営業時間 7:00~23:00 03-3379-5100 <https://www.daiei.co.jp/stores/d0892/>  
〒160-0023 新宿区西新宿 5-1-1-101

防災対策のために低層ビルが次々高層ビルへと生まれ変わる淀積地区。そこに2023年の春完成した新しいビルにオープンしたのが、イオンフードスタイル ダイエー 西新宿店だ。新宿区への初出店ともなるこの店舗を仕切るのは八王子店や小石川店でも活躍された前田店長。イオン・ダイエーは全国区の大手スーパーだが、神戸、東日本の大震災を経て「地域と一緒でないといけない」、「街の拠点でありたい」と意識が変わったと言う。事実、西新宿店には江戸時代の内藤新宿で誕生した「内藤とうがらし」の専用コーナーがあり、内藤とうがらし地域連携拠点の一つを務めている。さらに淀積地区の再開発が進んでも古くからの商店会と新しい店舗の連携でどんな自然災害にも強く持続的なまちづくりができるに違いない。

店長 前田 貴広(まえだ たかひろ)さん

前田店長(左)と鈴木元淀商店会長(右)

店内の内藤とうがらしコーナー

**おさかなや 海鮮**

営業時間 11:30~15:00(L.O. 14:40) 17:30~22:00(L.O. 21:30) 日・定休  
[https://www.instagram.com/osakanaya\\_official/](https://www.instagram.com/osakanaya_official/) 〒160-0023 新宿区西新宿 6-26-10

「美味しい天然鮮魚を食べていただきたい」そんな思いでこの地にお店を開きましたと語るのは石井店長。店名どおり、お魚好きにはたまらないメニューラインアップ。お客様は、ビジネス街と居住地が入り組むこの地らしく、ランチタイム、居酒屋タイムのビジネスマンは当然、付近にお住まいのお魚の味がわかる老若男女が集まるコミュニティスポットになっている。実はお店には2階もあり、常連さんを招いたスペシャルイベントが開かれているとか。店員さんもお客様との会話から好みのお魚をお勧めしてく

れる。このように、古くから街道沿いで栄えてきたこの街に皆が集う新しいお魚好きのスポットが生まれたのは間違いない。

店長 石井 悠司(いしい ゆうじ)さん

お刺身はもちろん色々なお酒との相性もばっちり

## 課題

新たなビルの竣工、新たな店舗の開店より旧来の町が分断されてしまう



新規店舗の商店会加入促進  
商店会加入メリットの可視化

# 実施概要 3

元淀商店会



西新宿商店会



## 課題

新たなビルの竣工、新たな店舗の  
開店より旧来の町が分断されてしまう



従来からの町の一体感を再現



隣接商店会の会員証プレートを  
同時に作成

# 実施概要 4

## TOKYO CHIPS

<https://tokyochips.tokyo/2024/03/25043/>

ビジネス

### 江戸時代から栄えた西新宿淀橋エリア。 新旧融合目指す再開発に、地元商店の声は？

📅 2024-03-15 🔄 2024-03-15 ⌚ 5分14秒

淀橋や熊野神社などがある西新宿エリアは、江戸時代から明治時代初期にかけて宿場町として繁栄していました。特に新宿中央公園西側にはかつて十二社池があり、花街として賑わいを見せていたそうです。昭和中期に入り、新宿副都心計画がスタート。十二社池は埋め立てられ、ビル街を形成していくことになります。

そして2023年、西新宿地区再整備方針が策定されました。今後も西新宿エリアの変遷は加速していくでしょう。古くからの伝統のある街を支えてきた商店会と、新たに移り住む人たちの融合を目指す西新宿エリア。かつてを知る地元商店の話を伺いました。

## Story News

<https://storynews.jp/news/yodobashichoukai/>

2024.3.19

商店会が人をつなぐ。西新宿淀橋地区の新たな街づくり

StoryNews編集部



「西新宿」と聞くと、新宿駅西口のヨドバシカメラ周辺を思い浮かべる人が多いかも知れない。西新宿というのは1丁目から8丁目まであり、新西口の大型ロータリーやヨドバシカメラがあるエリアは1丁目、都庁や新宿中央公園があるエリアは2丁目だ。2023年に西新宿再整備方針が策定され、一帯の高層開発が進んでいる。

一方、西新宿の歴史を紐解くと非常に興味深いのが5丁目と6丁目である。新宿区と中野区の境にある神田川の上流に位置するのが西新宿5丁目、6丁目。青橋街道上に広場があるため、袋地地区と称される。かのヨドバシカメラは、この地で株式会社袋地写真真会を設立したのが始まりだ。

## 課題

ノベルティーでは周知範囲が限定  
一過性の効果しか望めない



ネットマガジンにより広範囲に  
情報伝達

保存可能な媒体により、効果延命

# 予算執行状況

大学連携事業

トートバッグ、新規加入商店チラシ作成

491,000円

# 実施状況のまとめと課題

○小規模商店会では、商店会補助金制度の活用がマンパワー面で担当役員や会長個人の負担となっている

=> 大学連携事業においても、区と商店会をつなぐ役割として実施すべき事柄が存在する

○大学連携事業として複数の商店会にまたがる活動が難しい

=> 覚書などは、複数の商店会との締結が可能。  
事業／3年の枠を取り払い活動範囲を流動的に変更できることが望ましい

○商店会共通の法的、技術的課題が存在

(景品表示法、道路使用許可、印刷データ作成 等)

=> 大学連携や個別事業の計画以前に商店会活動へのコンサルテーション強化が望ましい